

公認心理師科目読み替え対応表

必要科目数	【公認心理師省令指定科目】	【本学読替可能科目】
I 必修 ①を含む 3科目以上	①保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論（2005～）
	②福祉分野に関する理論と支援の展開	障害者（児）臨床心理学特論Ⅰ（2004～2005） 障害者（児）臨床心理学特論Ⅱ（2004～2005） 障害者（児）臨床心理学特論 発達臨床心理学特論Ⅰ（2004～2009） 発達臨床心理学特論（2010～）
	③教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学特論 学校カウンセリング演習（2004～2008）
	④司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	犯罪心理学特論
	⑤産業・分野に関する理論と支援の展開	対応なし
II 2科目以上	⑥心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習
	⑦心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論 心理療法特論Ⅰ 心理療法特論Ⅱ 心理療法特論Ⅲ 心理療法特論Ⅳ 心理療法特論Ⅴ
	⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論 コミュニティ・アプローチ特論（2004～2008） 臨床心理地域援助特論（2009～）
	⑨心の健康教育に関する理論と実践	対応なし
III 必修	⑩心理実践演習（450時間以上）	臨床心理実習

以上の読み替え対応表において、公認心理師省令指定科目のうち、必修①を含めて①～⑤のうち3科目を履修し、⑥～⑨のうち2科目を履修し、⑩臨床心理実習を履修していること

※複数の対応科目が入っている場合、全てが必要ではなくいずれか1つを履修済みであれば省令指定科目を履修済みとします。

例) ⑧の読替対応科目において「家族心理学特論」、「コミュニティ・アプローチ特論」、「臨床心理地域援助特論」の中で全てを履修済みであっても、「⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践」1科目と数えてください。